

審査 設計者

令和 7 年度 実施設計書

工事番号  
(設計書コード) 37-EF320-05-03-01

建設工事名 令和7年度（県費）林道高根舟ヶ久保線（瀬戸ノ谷）法面改良工事

路線箇所名 建設工事箇所 藤枝市 瀬戸ノ谷 地内

建設工事金額

工 期 令和 7 年 1 1 月 2 8 日限り 週休2日推進工事補正 （4週8休以上）

建設工事概要  
施工延長 13 m  
法面保護工 222.5 m2

歩掛・単価適用年度 令和 7 年 6 月 基本単価 令和 7 年 6 月 地区コード 220 地区

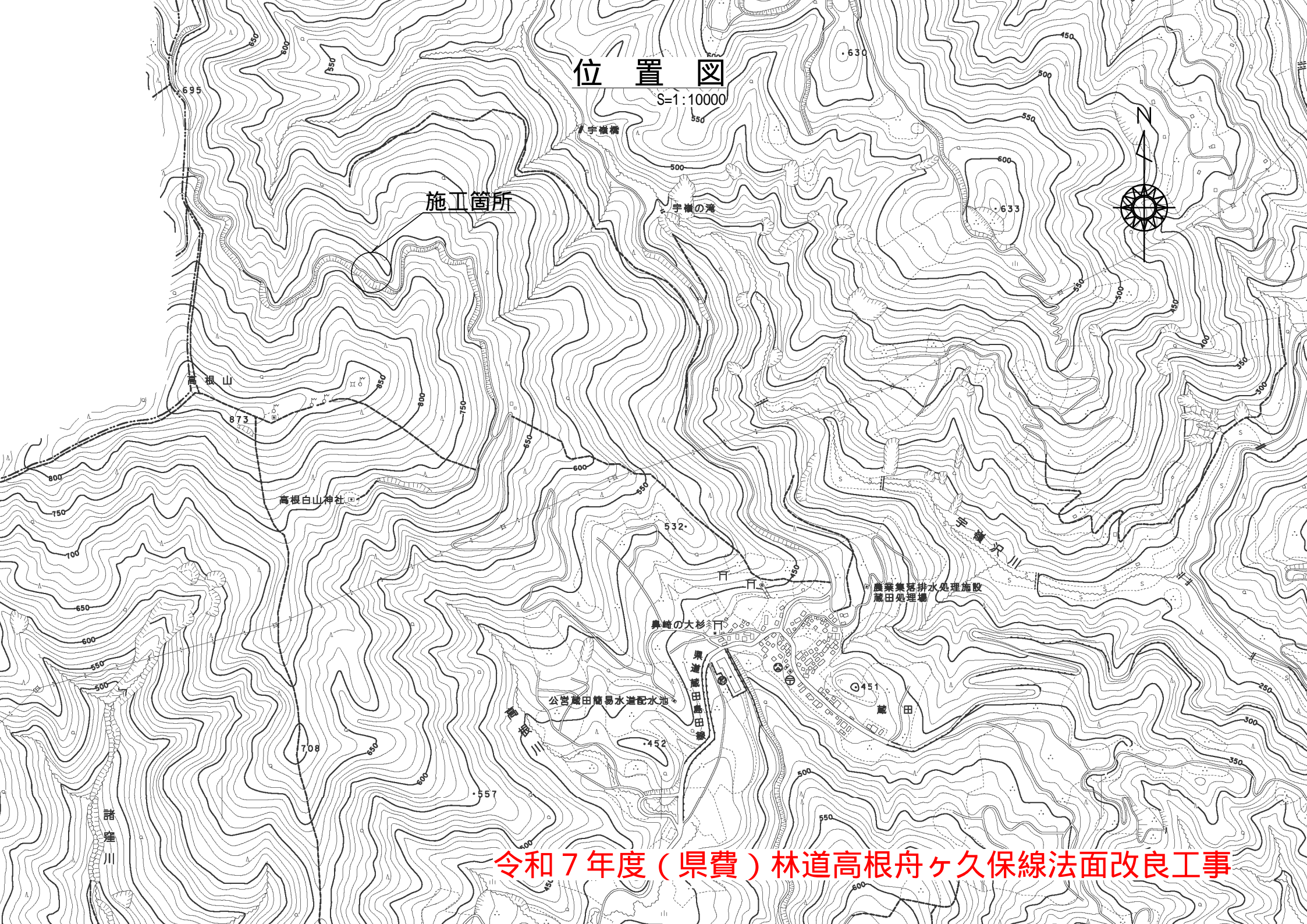
起 終 点 指 定 1 +16.50 ⇔ 2 +9.70

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である

# 位置図

S=1:10000

施工箇所



令和7年度（県費）林道高根舟ヶ久保線法面改良工事

## 請 負 費 構 成 表

項 目 名	単 位	数 量	金 額	備 考
(1) 工事価格				
(2) ・工事原価				
(3) ・・・・直接工事費	式			
(4) ・・・・間接工事費				
(5) ・・・・共通仮設費				
(6) ・・・・共通仮設費（率分）	%			
(7) ・・・・現場管理費	%			
(8) ・一般管理費等	%			
(9) 純工事費				
(10) 処分費				
工種区分名称				道路工事
地域特性区分				地域補正しない
一般管理費等補正				金銭的保証を必要とする

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 林道開設・改良工事					
式	1				
-- 林道土工					
式	1				
--- 掘削工					
式	1				
---- バックホウ掘削 地山の掘削積込 礫質土 障害なし 林道工事における施工土量5,000m3未満	m3	124			日当り施工量:83m3 第 1号表 数量コードCA
---- 人力併用機械掘削(土砂) 礫質土 林道工事	m3	57			日当り作業量:108m3 第 2号表 数量コードCA1
--- 盛土工					
式	1				
---- 埋戻し					
m3	2				SP 1号表 数量コードBA
--- 法面整形工					
式	1				

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 切土法面整形（バックホウ使用） 礫質土 バックホウ：山積0.45m3（平積0.35m3） 排出ガス対策型（2次）	m2	89			第 3号表 数量コードKI
---- 切土法面整形（人力） 礫質土	m2	106			第 4号表 数量コードJI
--- 残土処理工	式	1			
---- 残土運搬処分 大河原建設（株）川口残土処分場 島田市身成35	m3	195			M0005 第 5号表 数量コードZ
-- 法面工	式	1			
--- 植生工	式	1			
---- ・法面工（厚層基材吹付工） 厚3cm 100m2以上 250m2未満 45m以下（施工基面上面） 吹付工 ラスアンカーピン設置含む	m2	222.5			第 7号表 数量コードSF
-- 仮設工	式	1			
--- 仮設工	式	1			

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 大型土のう工 撤去 バックホウ使用	袋	20			第 8号表
直接工事費計					
工種区分 道路工事					
共通仮設費（率） （地域補正しない）	式	1			
共通仮設費計					
純工事費計					
現場管理費 （地域補正しない）	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 （金銭的保証を必要とする）	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

バックホウ掘削 地山の掘削積込 礫質土 障害なし 林道工事における施工土量5,000m3未満 第 1号表					
金	円	100 m3 当り	日当り施工量: 83m3		
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
バックホウ運転〔クローラ型〕 後方超小旋回・超低騒音型 山積0.45 (平積0.35m3) 排出ガス対策型 (2014年規制)		日			
計					
単価		m3			

1, #等: 諸経費等対象額

7390DBF0

作業種別=地山の掘削積込, 施工土量=林道工事における施工土量5,000m3未満, 土質区分=礫質土, 障害の有無=障害なし



人力併用機械掘削（土砂） 礫質土 林道工事					
金 円 10 m3 当り			第 2号表 日当り作業量：108m3		
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
バックホウ運転〔クローラ型〕 後方超小旋回・超低騒音型 山積0.45（平積0.35m3） 排出ガス対策型（2014年規制）	日				
計					
単価	m3				

1, #等:諸経費等対象額

7390DBF0

切土法面整形（バックホウ使用） 礫質土 バックホウ：山積0.45m3（平積0.35m3） 排出ガス対策型（2次） 第 3号表					
金	円	100 m2 当り			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
普通作業員		人			
土木一般世話役		人			
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.45m3（平積0.35m3） 排出ガス対策型（第2次基準値）		時間			
計					
単価		m2			

1, #等:諸経費等対象額

7390DBF0

バックホウ規格=山積0.45m3（平積0.35m3）， 土質区分=礫質土， 排出ガス対策型の使用=排出ガス対策型（2次）， 職種区分=普通作業員

切土法面整形 (人力)  
礫質土

第 4号表

金 円 100 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員					1
	人				
土木一般世話役					1
	人				
諸 雑 費					
	%				
計					
単価					
	m2				

1, #等:諸経費等対象額

7390DBF0

土質区分=礫質土, 難易補正区分=補正無し, 職種区分=普通作業員

M O O O 5					
残土運搬処分 大河原建設（株）川口残土処分場 島田市身成35					
第 5号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬 DT:4 t 土質:砂・砂質土・粘性土・礫質土 運搬距離:19 km	m3	100			第 6号表
残土処分費 (第3種建設発生土 L=19km 変化率1.2)	m3	120			
計					

ダンプトラック運搬  
DT:4 t 土質:砂・砂質土・粘性土・礫質土 運搬距離:19 km

第 6号表

金 円 10 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック 運転 4 t 積 損料割増なし 普通	時間				
計					
単価	m3				

1, #等:諸経費等対象額  
7390DBF0

ダンプ車種=4 t, 土質区分=砂・砂質土・粘性土・礫質土, 積込機械=バックホウ 山積0.45m3 (平積0.35m3), 係数=4.8, 片道運搬距離=19 km

金 円 1 m2 当り					
・法面工 (厚層基材吹付工) 厚3cm 100m2以上 250m2未満 4.5m以下 (施工基面上面) 吹付工 ラスアンカーピン設置含む					
第 7号表					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
法面工 (植生工) 植生基材吹付工、厚3cm		m2	1		
[補正係数: 週休2日補正]		X			
[加算率: S] 100m2以上 250m2未満		%			
補正後市場単価		m2	1		
計 (合計金額対象外を除く)					

1, #等: 諸経費等対象額  
7390DBF0

規格区分=厚3cm, 施工規模=100m2以上 250m2未満, 時間制約を受ける場合の補正=無, 法面垂直高=4.5m以下 (施工基面上面), 作業区分=吹付工 ラスアンカーピン設置含む, 遠隔地割増=無

大型土のう工 撤去 バックホウ使用						第 8号表
金 円	10 袋 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役	人				1	
特殊作業員	人				1	
バックホウ運転 山積0.8m3、平積0.6m3、2.9t吊 超低騒音型 排出ガス対策型（第3次基準値）	日					
計						
単価	袋					

1, #等: 諸経費等対象額

7390DBF0

作業区分=撤去, 作業半径=6m以下

(バックホウ使用), ラフテレーンクレーン排出ガス対応型の使用=排出ガス対策型（第3次）, 職種区分=普通作業員

# 施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
埋戻し	施工方法＝最小埋戻幅 4 m 以上	SP 1 号表



±工

測点間距離20 m

数量計算表

測点 中間点 距離(m)                      コメント					CA                      切土 (機械)			BA                      盛土			CA1                      切土1 (人力)		
					数 量	平均値	立積 ( O 2 )	数 量	平均値	立積 ( O 2 )	数 量	平均値	立積 ( O 2 )
1	+16.50	0.00	CP2-2	8.00			0.00			6.30			
2	+1.70	5.20	EC2	12.80	10.400	54.100	0.20	0.100	0.500	8.50	7.400	38.500	
2	+6.50	4.80	BC3	10.30	11.600	55.700	0.10	0.200	1.000	1.60	5.100	24.500	
2	+9.70	3.20	CP3-1	5.00	7.700	24.600	0.30	0.200	0.600	0.00	0.800	2.600	
合            計            13.20				(CA)		134.400	(BA)		2.100	(CA1)		65.600	
曲 率 更 正						-10.03			-0.04			-9.03	
計						124.400			2.100			56.600	

±工				数量計算表			測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m)                      コメント				CA2                      切±2 (人力)				
				数 量                      平均値                      立積 ( 0 2 )				
1	+16.50	0.00	CP2-2	0.00				
2	+1.70	5.20	EC2	0.00				
2	+6.50	4.80	BC3	0.00				
2	+9.70	3.20	CP3-1	0.00				
合                      計                      13.20				(CA2)	0.000			
曲                      率                      更                      正					0			
計					0.000			

法面										数量計算表			測点間距離		20 m	
測点 中間点 距離(m)                      コメント										J I                      法面整形 (人力)			K I                      法面整形 (機械)			
										数 量	平均値	面積 (0 2)	数 量	平均値	面積 (0 2)	
1	+16.50	0.00								5.90			7.80			
2	+1.70	5.20								6.10	6.000	31.200	7.90	7.850	40.820	
2	+6.50	4.80								11.80	8.950	42.960	6.70	7.300	35.040	
2	+9.70	3.20								10.00	10.900	34.880	6.20	6.450	20.640	
合 計	13.20									(J I)		109.040	(K I)		96.500	
曲 率 更 正												-3.46			-7.71	
計												105.580			88.790	

±I			測点間距離 20 m						
曲率更正計算表									
測点	中間点	距離(m)	( CA ・ 切土 (機械) )			R (m)	E (m)	E ／ R	A L E ／ R
			数 量	平均値	立積 ( O 2 )				
	1	+16. 50	0. 00	8. 00		15. 00	-3. 8		
終了	2	+1. 70	5. 20	12. 80	10. 400	54. 100	15. 00	-3. 5	-0. 243
開始	2	+6. 50	0. 00	10. 30			15. 00	2. 4	
	2	+9. 70	3. 20	5. 00	7. 700	24. 600	15. 00	1. 4	0. 127
曲 率 更 正 計 ( 8. 40)			( 78. 700)					(CA)	-10. 03

曲率更正計算表										測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m)			( BA ・ 盛土 )			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R		
			数 量	平均値	立積 ( O 2 )						
終了 開始	1	+16. 50	0. 00	0. 00		15. 00	-3. 8	-0. 253			
	2	+1. 70	5. 20	0. 20	0. 100	0. 500	15. 00	-3. 5	-0. 243	-0. 12	
	2	+6. 50	0. 00	0. 10			15. 00	2. 4			
	2	+9. 70	3. 20	0. 30	0. 200	0. 600	15. 00	1. 4	0. 127	0. 08	
曲 率 更 正 計 ( 8. 40)				( 1. 100)					(BA)	-0. 04	

土工									
測点間距離 20 m									
曲率更正計算表									
測点	中間点	距離(m)	( CA1 ・ 切土 (人力) )			R (m)	E (m)	E ／ R	A L E ／ R
			数 量	平均値	立積 ( O 2 )				
終了 開始	1	+16. 50	0. 00	6. 30		15. 00	-3. 8		
	2	+1. 70	5. 20	8. 50	7. 400	38. 500	15. 00	-3. 5	-0. 243
	2	+6. 50	0. 00	1. 60		15. 00	2. 4		
	2	+9. 70	3. 20	0. 00	0. 800	2. 600	15. 00	1. 4	0. 127
曲 率 更 正 計 ( 8. 40)			( 41. 100)					(CA1)	-9. 03

法面			測点間距離 20 m						
曲率更正計算表									
測点	中間点	距離(m)	( J I ・ 法面整形 (人力) )			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R
			数 量	平均値	面積 ( O 2 )				
	1	+16. 50	0. 00	5. 90		15. 00	-3. 8		
終了	2	+1. 70	5. 20	6. 10	6. 000	31. 200	15. 00	-3. 8	-0. 253
開始	2	+6. 50	0. 00	11. 80			15. 00	2. 4	
終了	2	+9. 70	3. 20	10. 00	10. 900	34. 880	15. 00	1. 4	0. 127
曲 率 更 正 計 ( 8. 40)			( 66. 080)					(J I)	-3. 46

法面			測点間距離 20 m						
曲率更正計算表									
測点	中間点	距離(m)	( K I ・ 法面整形 (機械) )			R (m)	E (m)	E / R	A L E / R
			数 量	平均値	面積 ( O 2 )				
	1	+16. 50	0. 00	7. 80		15. 00	-3. 8		
終了	2	+1. 70	5. 20	7. 90	7. 850	40. 820	15. 00	-3. 8	-0. 253
開始	2	+6. 50	0. 00	6. 70		15. 00	2. 4		
終了	2	+9. 70	3. 20	6. 20	6. 450	20. 640	15. 00	1. 4	0. 127
曲 率 更 正 計 ( 8. 40)			( 61. 460)					(K I)	-7. 71



法面

数 量 調 整 表						土量調整表・堰堤工数量計算表優先	
名 称		コード		計 算 式			
植生基材吹付工		S F      ( 0 3 )		=    222. 49			
				=    222. 500			

残土処分

数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
残土処分	Z (02)	<div>= CA + CA1 + ( 20 / 1.2 ) - ( BA / 0.95 )</div> <div>= 124.4 + 56.6 + ( 20 / 1.2 ) - ( 2.1 / 0.95 )</div> <div>= 195.460</div>	

## 個人情報取扱特記仕様書

### 1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

### 2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

### 3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

### 4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

### 5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

### 6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

### 7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

### 8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

### 9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

### 10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

### 11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

## 工事写真の電子データに関する特記仕様書

### 第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

### 第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

### 第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

### 第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。  
なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

### 第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

## 障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

## 遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

### （定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

### （適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

### （実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

#### （1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

#### （2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

### （実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

#### （1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

#### （2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

#### （3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

#### （4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

## 藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

### （目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

### （用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 休工日 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された日（巡回パトロール・保守点検等、現場管理上必要な作業のみを行う場合は休工日に含む。）をいう。
- (3) 現場閉所率 対象期間における休工日の割合（休工日数／対象期間日数）を百分率で表示したものをいう。
- (4) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。  
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が２８．５％に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (5) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が２８．５％以上の状態をいう。

### （費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

### （実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに４週８休以上の休工日取得計画表を監督員に提出しこれに基づき施工を行う。
- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更した休工日取得計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、休工日及び現場閉所率について確認を行う。なお、４週８休以上の休工日が確保できなかった場合には、静岡県週休２日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上



による減額変更契約を行うものとする。

(工期設定の条件)

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 ( ) 日  
(3) 地域の事情 ( ) 日  
(4) 自然条件 ( ) 日  
(5) その他 ( ) 日

## 令和7年度（県費）林道高根舟ヶ久保線（瀬戸ノ谷）法面改良工事特記仕様書

### 第1条 総則

本仕様書は、「静岡県農林土木工事共通仕様書」（令和5年建経工第60号、以下「共通仕様書」という）に定めるほか、本工事の施工に際し必要な事項を定めるものとする。本仕様書の内容と共通仕様書の内容に重複する記載があった場合は、本仕様書が優先するものとする。

### 第2条 事前測量

「共通仕様書」1-1-44に基づき事前測量を確実に行うものとする。測量の結果、現場状況と設計書に乖離が生じている場合、速やかに監督員と協議することとする。

### 第3条 その他

本仕様書に記載なき場合で疑義が生じた場合、速やかに監督員と協議すること。

## 情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

### 第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

### 第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

### 第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

### 第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

(令和7年度(県費)林道高根舟ヶ久保線(瀬戸ノ谷)法面改良工事)

[illegible]230  
CASA DE MONTEZENZO CO. LTD.